/ TT Ht 2004	E度実施事業)	١
\ DV. / U.	工场手术争手	,

事業 評価表

京都府南丹市

作成日·平成21年05月11日

	1 1040 4100 1 1111	4->(11770 - 1790 - 1 0 0 7 3 1 1 1 1
事 業 名	老人保健事業	事業運営方法 □ 直 営 □ 一部委託 ☑ 全部委託 □ 補 助 等	所管部署名等
細事業名	基本健康診査、肝炎ウイルス検診	▼ U 民間	福
- W - A	事業分類: (B) ソフト事業 政策体系CD: 141	委 託 先 □ その他 ((財)京都予防医学センター) 担当 : 小林
事業区分	□ 新規事業 □ 時限事業 (平成 年度迄)	関連法令・条例等 健康増進法、後期高齢者医療の確保に関する法律	
			*

【事業の概要】

①施策で目指す目標との関連付け

市民が自分の健康を自分で守り健康で自立した生活を続けていく為に、市民健診を自身の生活習慣を振り返るきっかけにしてもらう。

②事業を実施する必要性

市民が生活習慣病の予防をはかり、健康寿命を延伸させるために必要な導入部分となるのが市民健診である。

③未実施事項

概ね、計画は実行できている。

- ④他にも効果が見込める施策があるか
 - ・後期高齢者医療確保法による特定健診、すこやか健診を実施。
 - 介護予防法の特定高齢者把握事業

【事業費の推移】

		単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21予算	平22計画
決	算額または計画額	千円	39, 369	30, 490	10, 450	18, 512	9, 709
う	ちー般職、嘱託職、臨時職給 与および共済費等	千円	0	0	511	0	0
財	使用料・手数料等	千円	2, 791	2, 768	186	150	150
源	国・府支出金	千円	13, 580	13, 902	3,604	8, 653	3,604
内	地 方 債	千円	0	0	0	0	0
訳	一 般 財 源	千円	22, 998	13, 820	6,660	9, 709	5, 955
職	員 等 従 事 人 員	人/年	_	_	1.79		
人	件費	千円			11, 364		
事	業 費 総 額	千円	_	_	21, 303		

事業CD 0104102 - 01020

【主な支出の内訳】

特定健診(生活保護世帯)

メタボ予防健診

すこやか健診(満75歳以上の後期高齢者)

肝炎ウイルス検診

【近隣市町村の取り組み状況】

【 前年度の評価を受けて改善した点等 】

市民健診の中で、特定健診は南丹市国民健康保険者対象となるので、国保以外の被扶養者の方も受診できるように、申込窓口となり広報や申込窓口を開いている。

【所属長総括評価】

- ①メタボ対策として市独自で30歳からの健診を実施したが、その年齢の協議を行った。又、す こやか健診の治療中対象者が多い中での有効性・効率性について協議を重ねた。
- ②メタボ対策として21年度から20歳からの健診を実施。
- ③市民健診の法的根拠が異なり、市民にわかりにくい健診になっている。理解しやすい内容で 啓発を勧めたい。

事業活動記録

平成20年度実施事業

 1772-1727/10-77						
政策体系CD	141	事 業 名	老人保健事業			
事来 しし.	104102- 01020	細事業名	基本健康診査、肝炎ウイルス検診			
所管部局	福祉	业部	所管課	健康課	担当	小林

104102-01020

区分	活動内容	活動日または時期	活動結果
	生活習慣病予備軍の年代である30代を対象に、メタボリックシンドロームの早期発見・予防を目的とした健診を実施。 集団健診のみ実施	集団:5月~6月	メタボ予防健診受診者数 373人
定	医療保険に加入していない生活保護受給者で40歳~74歳の方を対象に、メタボリックシンドロームの早期発見・予防を目的とした特定健診を実施。 集団健診と医療機関での個別健診とがある。	集団:5月~6月 個別:1期 5月~7月 2期 8月~2月	特定健診受診者数(生保受給者) 集団:9人 個別:6人
	75歳以上全員を対象に、特定健診とほぼ同じ内容のすこやか健診を実施。 集団健診と医療機関での個別健診とがある。	集団:5月~6月 個別:5月~7月	すこやか健診受診者数 集団 736人 個別 409人
展 検診 おいれる		集団:5月~6月	肝炎ウイルス検診受診者数 集団 67人